

やっかいな

灰色かび病、 うどんこ病に!

殺菌剤

フルヒカ

くん煙剤

特長

- ① 施設栽培の主要病害である灰色かび病・うどんこ病に優れた防除効果を発揮します。
- ② 他剤と異なる作用性を有する殺菌剤「メパニピリム」を主成分とするくん煙剤です。
- ③ 各種作物の灰色かび病・うどんこ病に予防的処理で安定した防除効果を発揮します。
- ④ 他剤に耐性を有する灰色かび病・うどんこ病にも安定した効果を示します。
- ⑤ くん煙剤なので、極めて省力的で、また施設内の湿度を高めることはありません。

適用病害と使用方法

作物名	適用場所	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	メパニピリムを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、ビニールハウス等 密閉できる場所	灰色かび病 うどんこ病	くん煙室容積 500m ³ (床面積250m ² ×高さ2m) 当たり50g(1錠)	収穫前日まで	4回以内	4回以内
いちご				3回以内	3回以内	
みかん		灰色かび病		開花期～幼果期 (但し、収穫90日前まで)	2回以内	2回以内
ぶどう				収穫30日前まで		

使い方：くん煙(くん煙は、通常10～15時間(少なくとも8時間)は密閉したままとし、開放しないでください。)



いちご・灰色かび病



きゅうり・灰色かび病



きゅうり・うどんこ病

フルピカで
作物ピカピカ!

フルピカ[®]くん煙剤

有効成分：メバニピリム15.0% 殺菌剤分類 9
包装：(50g×4錠)×10パック×4箱 人畜毒性：医薬用外劇物

フルピカくん煙剤の上手な使い方

●予防(早めの防除)を重点に行なってください。

発生前や発生初期から予防的に早めにくん煙することで、優れた防除効果を発揮します。

●連続使用はさけてください。

耐性菌対策のため、本剤の連続使用はさけ、作用性の異なる薬剤とのローテーションで使用してください。

●耕種的な防除を併用してください。

灰色かび病を防除するには、薬剤防除のみに頼ることなく、病害が発生しにくい環境を作ることが重要です。フルピカの防除効果は、耕種的な防除対策と併用することにより一層高まります。

使用薬量の決め方

ハウスの面積	250m ² (76坪)	500m ² (152坪)	750m ² (227坪)	1,000m ² (304坪)
ハウスの容積(高さ2mとして)	500m ³	1,000m ³	1,500m ³	2,000m ³
使用量	1錠	2錠	3錠	4錠

試験成績

●いちご 灰色かび病

(1995年.日植防研 高知試験農場)

供試薬剤	薬量	発病率率(%)	防除値(%)
フルピカくん煙剤	10g/100m ³	0.6	94.4
A 剤	2,000倍	2.7	75.0
無散布	—	10.8	

●供試品種：とよのか(定植 平6.11/8) ●試験面積：46.8m²反復なし(対照剤6m²3反復)
●処理日：平7.1/12,19.26,2/2.9計5回 ●調査：1/27.2/6.16の累計。調査時に発病果・収穫果を取り除いた。 ●発病程度：中発生
●考察：本剤は対照薬剤にまさる高い防除効果が認められた。

●きゅうり 灰色かび病

(1995年.日植防研 宮崎試験農場)

供試薬剤	薬量	発病率率(%)	防除値(%)
フルピカくん煙剤	10g/100m ³	0	100
B 剤	1,000倍	0	100
無散布	—	19.6	

●供試品種：シャープ1(定植 10/20) ●試験面積：150m²反復なし(対照剤5.0m²3反復)
●処理日：11/27,12/4,11計3回 ●調査：12/1~15までは随時収穫果の発病を、12/18には全摘果の発病を調査し、累計により発病率率を算出した。 ●発病程度：中発生
●考察：発病が全く見られず、対照剤と同等の高い防除効果が認められた。

●きゅうり うどんこ病

(1995年.日植防研 宮崎試験農場)

供試薬剤	薬量	発病率率(%)	防除値(%)
フルピカくん煙剤	10g/100m ³	2.6	93.4
C 剤	3,000倍	0.5	98.7
無散布	—	39.4	

●供試品種：トップグリーン(定植 5/30) ●試験面積：150m²反復なし(対照剤7.2m²3反復)
●処理日：6/21,28,7/5 計3回 ●調査：7/12に発病率率および発病面積率から発病度を算出した。 ●発病程度：中発生
●考察：本剤は高い防除効果が認められた。

点火方法

付属のつり具を使い、つり下げて使用する場合

(つり具の組み立て方)

①アームを垂直に引き上げる。
②③④⑤を折り曲げる。

(できあがり)

つり具に薬剤をのせて、必ず点火紙を下にしく

点火紙

薬剤に直接点火すると炎が出るので、つり具に薬剤をのせて、点火紙を点火口に正しくセットし、**点火紙の先端にマッチやライターなどで点火する。**点火紙に点火後、10~15秒後に発煙する。

つり具はケースの中に、点火紙はポリ筒の中に入っています。

①点火は以下の通りに行なってください。

〔点火紙を用いる場合〕

同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火します。点火紙を薬剤の上のせて点火したり、薬剤に直接マッチやライターなどで点火すると、炎が出るのでさけてください。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消してください。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出て、そのまま放置してください。

〔電気式点火・くん煙装置を使用する場合〕

装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電してください。点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置してください。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置してください。

設置方法(10オールハウスの場合)

正方形に近いハウスの場合

長方形のハウスの場合

1錠ずつ

②点火後は、くん煙終了時までくん煙室に入らないでください。

効果・薬害等の注意

- 温室、ガラス室、ビニールハウス等、防除しようとする室の戸や窓を開け、室内の可燃物を取り除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満遍なく行きわたるようにしてください。
- くん煙する場合は、添付のつり具を使用してくん煙してください。つり具は栽培作物の高さでつり下げ、または不燃性の台などの上のせて使用してください。なお植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置してください。特にビニール等の被覆材とは、60cm以上離れた位置で使用してください。棚仕立てのぶどうに使用する場合は、つり具を不燃性の低い台の上のせ、植物体から離れたなるべく低い位置で使用してください。
- 高温時には薬害を生じるおそれがあるので、日中のくん煙はさけ、なるべく夕方温度が下がってからくん煙し、少なくとも8時間は開放しないでください。

- 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので使用しないでください。
- きゅうりのうどんこ病に使用する場合、多発生時には効果が劣ることがあるので注意してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- 点火などの作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・

長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- くん煙中はハウスへ入らないでください。また、くん煙終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

〔保管〕密封し、火気や直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼・乾燥した所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届けください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。



使用方法(動画)はこちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2024年5月現在の知見に基づいて作成しています。2400(24-05)